

学校区分	学年	社会問題について自分自身の意見を書こう			東洋大学京北中学校
中学校	3				
教科名	科目名	単元名	授業時間目安		活用したRESASデータ（マップ名等を記入）
国語科		自分の意見を書く	4	時間	人口マップ⇒人口増減分析・社会増減分析

目的やねらい、背景や経緯		情報化の進む現代において、グラフなどの数値データを適切に読み取ったうえで自分の考えを深める力、そして自らの意見を論拠に基づいて構築する力は、今後より重要になってくると考えられます。これらのことを踏まえ、「社会の問題について複数の情報をから読み取ったうえで、適切なデータを根拠として提示しながら自身の意見を分かりやすく書く」ことを目標としています。また、災害を教材として扱うことで、災害を自分事として捉えてほしいと考え、この授業を行いました。			
取組内容	概要	授業の構成・カリキュラム等			活動の様子
	2011年の東日本大震災の復興に着目した内容です。 さらに、書籍などの資料ではなく、現在進行形の問題に素早くアクセスできるデータベースを用いています。また、復興庁の文書（数値データあり）なども用いています。 東日本大震災による社会の変化、そして復興については、メディアで二次的に報じられて知ることはあっても、実際の公機関の資料までたどって見る機会がありません。そういうデータや公機関の資料の大元にあたることで、それまで子どもという立場から見ていた社会に、新たな視点が一つ増えると思われます。 そしてそれらの知識を蓄えたうえで、「今後自分達がすべきこと」というタイトルで自分自身の考えを書くという学習を行います。	【第1次】 2011年の東日本大震災による岩手・宮城・福島の変化をデータから読み取り、整理する。 〔1時間目〕RESASの人口マップから、東日本大震災によってどのような変化があったかを読み取り整理する。 ★RESASの使い方を教える。 ★岩手・宮城・福島の人口増減を分析する。 ①人口マップ⇒人口増減分析⇒出生数・死亡数/転入数・転出数のグラフを読み取る。 ②人口マップ⇒社会増減分析⇒人口移動（グラフ分析）を読み取る。 〔2時間目〕復興庁のHPの復興予算のデータから、東日本大震災以降の国の予算の内容はどのように変化していったかを読み取り、整理する。 【第2次】 東日本大震災以降の約10年で、どのように復興したかを国のHPの資料から読み取り整理した上で、今後自分たちにすべきことを考えて小論文として書く。 〔3時間目〕復興庁の「東日本大震災発災害10年ポータルサイト」のHPや東日本大震災からの復興状況 【パンフレット】「東日本大震災からの復興の状況と取組」の内容から、どのように復興したかを、1次で扱った復興予算と照らし合わせながら読み取る。 〔4時間目〕学んだことを踏まえて、「今後自分達がすべきこと」を考えて自分の意見を書く。			・初めて使うRESASのサイトに興味を持っている様子が見られました。今回の授業では人口マップだけを使用しましたが、他のマップにも興味を持っているようでした。 ・グラフなどの提示はとても視覚的に分かりやすかったです。 ・普段の教科書の教材（文章）とは異なる公機関の資料を扱ったこと、社会の問題を取り扱ったことで、生徒の興味関心が高まったようでした。
成果（発見・気づき）及び課題		数値で社会現象を読み取ることで、漠然としていたものが具体的なものとして見えるようになっていと感じました。RESASの使い方慣れれば、あらゆる社会事象について個人個人が分析し、自分の意見をより根拠を明確にして述べられるようになると思います。			